

第3回 岡谷市総合教育会議

日時：平成27年12月4日（金）

午前9時00分～午前10時00分

場所：市役所6階605会議室

○ 開会

（小口企画政策部長）

定刻となりましたので、ただ今より、第3回岡谷市総合教育会議を開催いたします。最初に今井市長よりあいさつをお願いします。

○ 市長あいさつ

（市長）

皆さん、こんにちは。寒さも本格化してきて、早いもので今年も残すところ、あと1ヶ月を切りましたが、本日は、今年度3回目の岡谷市総合教育会議ということでお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

教育委員の皆様には、日ごろ岡谷市の教育の向上、発展に向け、日々、ご尽力いただいておりますことに感謝を申し上げます。

また、今月から新しく教育委員として高木千奈美委員さんを選任させていただきました。今後ともよろしく願いいたします。

本日は、岡谷市の教育大綱策定に向けまして、8月の第2回会議でご議論をいただきました内容を反映したものが、一定の形にまとまりましたので、改めてご協議をお願いするものでございます。

教育大綱につきましては、岡谷市が目指す「子どもから大人までの幅広い視野に立った教育の姿」を形にするため、皆様のご意見を頂戴し、まとめてまいりたいと考えております。

また本日は、この時期から作業が本格化いたします「新年度予算編成」につきまして、その方針についても触れさせていただきたいと思っております。

本日は、よろしくお願い申し上げます。

○ 教育委員長あいさつ

（小口企画政策部長）

ありがとうございました。続きまして、草間教育委員長よりあいさつをいただきます。

（草間教育委員長）

おはようございます。教育委員会を代表いたしまして一言ごあいさつさせていただきます。

市長さんをはじめ、市の関係者の皆様には日ごろより、教育行政発展のために多大なるご

理解、ご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。本日の議題であります岡谷市教育大綱、岡谷市が目指していく教育の姿を明らかにするものでありまして、今後の教育行政推進の一番重要な核となるものでございます。この後、最終的なご協議をお願いするわけですが、内容につきましては前回の総合教育会議におきまして、教育委員会といたしましても見直し等行った上で本日の案に反映させていただいております。

また、本日は先ほど市長さんのお話にもありましたように、新年度予算編成に向けたお話をいただけることとなっております。厳しい経済情勢の中でも市と教育委員会が共通の認識の下、よりよい教育を推進していくことが大切と考えております。

総合教育会議は行政と教育委員会をつなぐ協議・調整の場でありますので、この会議が活性化することで、岡谷市の教育行政のさらなる発展が見えてくるものと考えております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

(小口企画政策部長)

ありがとうございました。

続きまして、本日の議題に入らせていただきます。以降につきましては、会議運営規則に基づきまして、議事進行を中田副市長にお願いしてまいります。よろしく願いいたします。

○ 議題

1. 岡谷市教育大綱（案）について

(中田副市長)

皆さん、おはようございます。副市長の中田でございます。

それでは、次第に沿いまして本日の議題に入らせていただきます。

本日の議題の1、「岡谷市教育大綱（案）について」であります。今お話がありましたとおり、8月に開催しました第2回の会議で、教育大綱の素案をお示しさせていただきました。そのときに、その内容について委員の皆様からご意見やお考えを頂戴いたしたところであります。

その後、それらを踏まえまして、大綱案を修正しておりますので、ご協議をいただきたいと思いますが、まずは資料の説明をお願いします。

(両角教育総務主幹)

(資料1に基づき説明)

(中田副市長)

ありがとうございました。何か補足はありますか。

ただいま説明がありましたが、前回の会議でお示しさせていただき、その時点でもご意見等をいただく中で今説明のありました「岡谷版コミュニティスクールの解説部分の記載」や

「ユニバーサルデザインについて配慮した文面」などの修正を加えさせていただいたと、説明がありましたが、ただいま説明のありました部分も含めて全体を通して、教育大綱(案)についてのご質問やご意見はございますか。

(太田委員)

まず、今回、初めてこういう形で岡谷市の教育大綱という形のまとめが出されたことは非常に意味のあることだと感じております。今回の教育大綱は2015年から2018年という3ヵ年ということになりますので、2018年度以降は新たな大綱をその都度、見直していく形になると思いますが、第1回目として、個人的によいと感じているのは、5ページ、ここが教育大綱の中身ということになると思いますが、岡谷の人づくりのイメージ図がありますが、個人的にはこの形が最初の段階で示せたことはいいことだと感じております。これは、おそらく時代が変わっても、これから先も教育の観点からは重要な枠組み、普遍性のある枠組みではないかと考えています。この中でそれぞれの役割、責任は時代が変わるごとに少しずつ変化していくのではないかと感じております。最初の段階でこのイメージ図が教育大綱の中心的な形として示すことができたのは意義のあることではないかと感じております。

(市長)

総合教育会議自体が初めての経験ですし、われわれ行政と教育委員会との関係が変わってくる微妙な時期だと思っています。行政が果たす役割というのはなんだろうと考えると、いい意味で支えていけるようになればとそんな思いもあります。私もこの絵、気に入っています。

(小野委員)

岡谷市と教育委員会のすべてが網羅された形でうれしく思っています。

一方、教育委員会改革の一貫としての、今回の総合教育会議であり、この教育大綱ができいくと思っていますので、その教育委員会改革の趣旨をこういう形で、実際に機能していくように頑張らなくてはいけないと思いつつながら、教育大綱ができたことをうれしく思います。

(橋爪委員)

私もこの図は素晴らしい図だと感じています。今回、家庭の力、人づくりの根幹を担う家庭の力として、明確に3つの柱の1つに盛り込めたのはとてもよかったと思っています。前回のこの場で、市長さんに家庭は大事ということをおっしゃっていただいて、その言葉で弾みがつくような取り組みができるのではないかと思います。こんな形で3つの柱を行政がバックアップしていくという体系もできたことがとてもよかったなと思っています。

(草間教育委員長)

今回携わらせていただきまして、やはりまちづくりは人づくりという観点の中から、今までどうしても教育というのは学校と家庭が中心であったのですけれども、やはり教育には地域の力と行政の力、特に岡谷小学校の統合に関わった時に開かれた学校ということで、地域の方の力が非常に大切だということを感じました。岡谷版のコミュニティスクールが多くの市民の方に理解をしていただいて、これから有効に、うまく動き出した時に岡谷の教育が、市民全体で教育を考える一つの大きな核になるのではないかという気がしました。この図のように、初めて体系的に表すことができたのはうれしく思っております。

(市長)

ある意味では教育委員会で今まで取り組んできていただいたことを体系化、図形化したという思いもありますし、皆さんが一生懸命取り組んでくれたことなのですよ。改めて文章化、体系化したということが、いい意味でこれが実際にできたということで積み重ねができればよいと思っています。

(高木委員)

まだ就任させていただいたばかりですが、この出来上がった教育大綱を読ませていただいて、素晴らしく出来上がっていると感じました。人がキーワードだと感じているので、人づくりが基本理念にあるということは素晴らしいなと思います。この中で特に期待しているのが、岡谷版コミュニティスクールですけれども、日ごろ読み聞かせボランティアや放課後居場所作りの講座などで私もボランティアとして関わらせていただくことがあるのですが、ボランティアで活動している人というのは非常に熱意をもって活動されています。今までは個々で、点で各学校が活動していたものが、この岡谷版コミュニティスクールを示していただいたことで、線としてつながり、私たちにとっても活動しやすくなると期待しています。その活動が学校と市民というだけではなくて、広く、それを基本にして生涯学習全般につながってくるのではないかと期待しています。そういう意味で私も努力していかなければならないなと思います。

(中田副市長)

この会議に臨む前に、行政の立場として検討してきた部分があります。そのとき、初めて聞かされたのが、他市の状況、他の市町村がどういう形でこのことに臨んでいるのかという部分の話を教育委員会から聞かせていただいたのですが、実はこういう形で新たに大綱をまとめてきているのは他にはないのだそうです。新たにこういう取組として形を現したのは岡谷が初めてではないかということをお聞かせいただきました。教育委員会から状況等の話をさせていただければと思いますが。

(両角教育総務主幹)

今回、教育制度改革に基づく教育大綱策定ということで市長さんが策定する大綱でございますが、県内の状況は総合教育会議がまだ開催されていない団体もございます。6月に県がまとめたアンケートでは、新たに策定するのは77市町村中13団体とのことです。「新たに」というところも多く、多くのまちでは既存の総合計画、教育振興基本計画という個別の計画を今、作っているのです、そういうところに位置付けて「新たに」というところも多いものがございます。岡谷市の場合は全く新しいものということで、既存の計画に準拠しているものではなく作らせていただいています。こういうつくり方をしているのは、県内では少ないということでございます。

(中田副市長)

ありがとうございました。もちろん岡谷市も総合計画をもっています。その中に教育の部分が謳われていますので、本来ならそれがあれば今回の教育大綱に代わるものということで、十分果たしていけるものなのですが、そこを一步踏み越えて教育のあり方という部分をこういう形でまとめることができたというのは、非常に意義のあることだと思っています。

(教育長)

今のお話に関わってですけれども、実はこれは教育委員会と市の皆さんだけで作ったものではなくて、すでに学校でがんばっている先生方とか、社会教育、生涯学習でがんばっている方の声など、全部寄せ集めながらまとめてきたということで、いろんな方の力がここに入っているのではないかと、だからこそ誇れる教育大綱になっているのではないかと考えています。校長先生方に教育大綱の素案を見ていただいたのですが、ある校長先生が私たちのやっていることを本当に認めていただいた、やりがいを持てたとおっしゃっていて、よかったですなと思いました。校長先生が読んで燃えてくるようなものももてる、教育大綱はエネルギーとなっていかなければいけないと思います。本当に素敵なお大綱ができ、これからが本番だと思っていますので頑張りたいと思います。

(市長)

こういう形でできましたが、教育長先生がおっしゃったように文章はできても実践していくのはこれからかなと思っていますので、私どももこれを基本にしながらきちんとした活動をしていきたいなと思っています。よろしくお願いします。

(中田副市長)

その他ご意見等ございますか。

それでは、岡谷市教育大綱(案)につきましては、本日のご協議をもって正案とさせていただきます。後日、教育委員会、市長部局両方で改めて承認していくということで、最終的

な「岡谷市教育大綱」として公表していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
します。そんなかたちでよろしいでしょうか。

(了解)

2. 平成 28 年度予算編成方針について (報告)

(中田副市長)

それでは、次に議題の 2 番目「平成 28 年度予算編成方針について」説明をお願いします。

(市長)

それでは、私から、岡谷市の新年度予算に向けた考え方などにつきまして少しお話をさせていただきます。

現在、新年度に向けた予算編成を精力的に進めているところです。長らく低迷が続いておりました市内経済ではありますが、改善の傾向が緩やかに見られるものの、依然として、先行きが不透明な部分もあり、市の財政状況は、厳しい状況が続いております。

このような状況を捉えた上で、岡谷市の新年度予算につきましては、第 4 次岡谷市総合計画後期基本計画の 3 年目として、更には、人口減少と地域経済の再生をめざす地方創生を図るために、現在、策定を進めております「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、岡谷市の創生を進める重要な年となります。

このため、平成 28 年度を「未来の岡谷を育む年」と位置づけ、市政運営における重点施策は、本年度に引き続き、「たくましい産業の創造」、「輝く子どもの育成」、「安全・安心の伸展」の 3 つを掲げております。

厳しい財政状況にあっても、将来の岡谷を見つめ、夢を描き、選択と集中による思い切った改革を実行することで、活力みなぎる岡谷の創生を図りたいと考えており、全職員の創意と工夫により新年度予算の編成作業を進めております。なお、平成 28 年度予算編成方針につきましては、お手元に資料を配布しておりますので、後ほど、ご覧いただきたいと思ます。

次に、人口減少を克服する地方創生に向けた岡谷市の総合戦略につきましては、現在、有識者会議を開催しながら最終調整を行っております。

総合戦略では、岡谷市の人口ビジョンに基づく人口の将来展望として、今から 45 年先となります平成 72 年に人口 4 万人台を維持できるよう、向こう 5 年間に展開する基本的な戦略を 4 つ掲げており、各施策を展開しながら「まち、ひと、しごと」の創生を図っていききたいと思います。また、基本戦略のうち、「輝く子どもの育成戦略」につきましては、結婚、妊娠、出産、子育て、教育の希望をかなえるための戦略となり、施策を展開する上で、教育の関わりが大きい分野となります。この基本戦略の内容につきましては、本日、ご協議いた

できました、岡谷市教育大綱との調和を図りながら策定を進めております。

新年度を展望する中で、教育分野の主な取り組みといたしましては、安全、安心の教育環境を確保するため、現在、進めております岡谷西部中学校の耐震改修事業につきましては、来年度の完成に向け、引き続き校舎等の改修工事を進めていく予定であります。

また、岡谷小学校の統合では、学校周辺の住民の皆さんの安全安心の確保に向けた安全対策を進めるため、まずは、校舎などの解体を速やかに進める必要があり、政策的な課題のひとつと考えております。

その他、子ども総合相談センターは開設から5年となりますが、特別支援教育につきましては、インクルーシブによる先進的な取り組みが進んでおり、引き続き、支援体制を確保していきたいと思っております。

また、教育大綱にも掲げております、製糸やものづくりなど、岡谷にちなんだ地域資源を活用した子どもたちの学習は、郷土愛を育み、まちの未来を支える人材の育成につながるものと期待しております。そのためにも、学校、家庭、地域、行政がともに協力、連携しながら、地域とともに、より良い教育環境を作り上げていきたいと思っております。

以上、予算編成の考え方などにつきまして、教育分野を中心に現時点の状況などをお話させていただきました。

新年度に入りましたら、改めて予算の内容についてご説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。私からは以上でございます。

(中田副市長)

市長さんから、新年度予算編成方針について説明をさせていただきました。このことについて、何かご質問やご意見はございますか。

(小野委員)

今回、予算編成方針ということで、始めて予算編成前にこのようなお話がこの会議の中でしていただけるのはうれしく思っています。総合教育会議として、教育委員会改革の中で今後はこういったことが進んでいくのが素晴らしい、車の両輪として素晴らしいと思っております。その中で、28年度は未来の岡谷をはぐくむ年として、輝く子ども育成を市長さんからお聞きしてさらに踏み込んで予算編成の中へ入れていただければと思います。

例えば、岡谷市がものづくりのまちとして、子どもたちが将来生きる力ですとか、学力の確保というところで、特に今後の大人となっていく中では、社会人として論理的な思考ですとか、協調性ですとか、そういった分野で生きる力をもっていかなければいけないという中で、いろいろな方法は教育委員会としてももっていかなければいけないと思っておりますけれども、学力保障の部分においては学童クラブをどうするかなどということをはひひしと思っております。予算的にお金のかかる部分が出てくると思いますが、ものづくりのまちを考えていただく中で予算編成を考えていただければありがたいと思っております。

(市長)

一つの指摘をいただいたと思っています。ものづくりへも視野を広げて考えてまいりたいと思います。

(太田委員)

教育委員会としましても、教育大綱をいかに具体化していくかというところが重要になってくると思います。その中でも特に、おそらく私も含め、完全になじんだ形での概念理解ができていないけれども、非常に教育大綱を進めていくにあたって重要なポイントになるだろうと思われる岡谷版コミュニティスクールが第1期として、どれだけ具体的に進んで、かつこういうことなのだなという理解が岡谷市全体に広がっていくかどうかというところがひとつのポイントなのではないかと感じております。先ほど、高木委員からも話がありましたが、さまざまな方たちがこれまでボランティアという形で、地域という立場から、特に学校など様々な分野を支えてくださっていたというところがあるかと思っています。その方たちが、これからいかに、これまでの個人の善意を超えて岡谷版コミュニティスクールという全体の中でそれぞれの力をもっともっと発揮していただける、そんな状態を作り上げていくことが重要だと思います。先日、出席をさせていただいた区長会の皆さんとのやり取りでもそうですし、特に岡谷小、神明小、田中小の統合という状況の中で、今まで以上にボランティアに関わっている方たちがより積極的に何かやらなきゃ、もっともっとがんばらなきゃと意欲的になっているという雰囲気強く感じます。ですので、そのタイミング、この機運をぜひ岡谷版コミュニティスクールの推進につなげていけることを課題として来年度、考えていきたいし、考えていただきたいと思っています。そのときにこれまでのボランティアというものに関して言いますと、それぞれがそれぞれの善意で、お気持ちでなさっているということ、それだけでは参画されている皆さんも多少の行き詰まりを感じているとの声がございました。ですので、その中でぜひ教育委員会、あるいは行政のほうでも、今後に向けて方向性、何らかの後押し、バックアップをしていただけるとありがたいという現実的な現場の声も聞かれました。例えば、具体的には大勢の方が関わっていただいている、各地域での子どもの通学の安全確保をする見守りボランティアの人たちには、何らかのボランティア保険など、バックアップをしながらその方たちの活動のしやすさを支援するなど、そういうような形で少しずつでも具体的な、予算的な支援を含む後押しが必要になってきていると感じておりますので、ぜひこの教育大綱を具体的に実現していく中でも、非常に重要になるであろう岡谷版コミュニティスクールというところも、何らかのバックアップができるようなことを予算編成の中でもぜひお考えいただければありがたいなと思います。

(草間委員長)

今まで教育委員会と市長部局という大きな壁があったように思いますが、総合教育会議

を経まして、教育委員と市長部局の方とが直接、予算について話し合いができるというのは総合教育会議の大きな意味であるし、また、市のこれからの教育行政が我々にも大変見やすくなってきた、というようなことを感じました。市長さんのお話にもありましたが、西中の耐震が全て終わり、これから老朽化した校舎をどうしていくか、また保育園の民営化などもありますけれども、今後長い年月をかけてさらに強力に手を加えていかなければならないという厳しい情勢の中で、きっちりやらないと子どもたちのためにとという観点から、少しずれてしまいますので、ぜひ長期的な観点に立ちまして進めていただきたいと思います。

(市長)

西部中学校につきましては、来年度中の完成に向けまして工事を進めていきたいと思っております。環境がかなり変わりますので、早くなじんでもらえればと思っています。安全・安心というところにつながりますので。

(中田副市長)

それでは、この予算編成については以上とさせていただきたいと思っております。先ほど市長から話がありましたとおり、具体的な予算編成が固まりましたら、この会議の中で話をさせていただきたいと思っております。

3. その他

(中田副市長)

議題は以上であります、「その他」ですが、委員の皆さん何かお持ちでしたらお願いいたします。

(橋爪委員)

ご案内のものは何もありませんが、口頭でご報告させていただきます。

先ほどの家庭の力のバックアップの部分に相当していて、具現化というところで取り組んでいることかなと思いますが、参観日の後の学級懇談会というものが開催されるのですが、親御さんたちの交流をそこでもっと促進させることができないか、子育てに関して話ができるようになると良いなという考えに基づきまして、小井川小学校で学校の参観の後の時間を完全託児にして、小さいお子さんを連れてこられた場合にはお子さんを預けて親御さんだけにして、話し合い、活動に集中できるような形をとりまして、専門のファシリテーターを市教委から派遣する形をとって、短い時間ではあったのですが、親御さんの懇親を促進する時間としてとっていただきました。そのときには、ファシリテーターとしては子ども課の NP プログラムの資格を持つ方に派遣をお願いして、その場を取り持っていただきました。そうしましたところ、親御さんたちの出席が当日ほぼ100%でした。そこで

親御さんたちの交流が深まって、その懇談会の後、道やお店で行き会ったときに声を掛け合ったり、かけてもらってうれしかったというような感想が聞かれたりして、たった 1 回試験的に実施しただけですけれども、手ごたえを感じました。そういう取組をしたということをお話をいただき、社会教育委員との懇談、区長会と校長会との懇談でご紹介したところ、湊小でも実施したいとお話をいただきました。そんなふうに展開していく中で、託児も地域の方のお力を借りながらやっていくことによって、地域で子どもを育てるといふ、コミュニティスクールの趣旨に合致するような取組になる気配を感じております。まだまだ始まったばかりでどのようなふう展開できるのか微妙な部分はありますが、子ども課との連携をしながら進められていて、その部分でもいいなと感じています。またご協力をいただくことになるかと思いますが、引き続きよろしくお祈りいたします。

小井川小は 1 年生の親御さんを対象としたので、これから 6 年間一緒に過ごす方たちが、そこで仲良くなって距離が縮まって、子育てについて雑談レベルで話し合える関係性になればよいと感じています。小井川小は、来年の 1 年生もぜひやりたいというふうに校長先生がおっしゃっていて、ついては前倒しで、来入児の一日入学のときに親御さんを対象に始められないかということで、2 月の一日入学の時を狙って具体的に動き始めております。

(中田副市長)

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。今の橋爪委員さんのお話を含めて、何か他にございますか。

(市長)

岡谷版コミュニティスクールは学校と子ども達のためだけではなくて、地域の皆さんの生きがいづくりにもつながるといいなと思います。学校を中心としていろんな方たちと交流できる、いろんな方たちから支援がいただけるというそんな形になればと思います。

(草間委員長)

区長会の話でもでたのですけれども、全区長さん、全校の校長先生、そして我々教育委員の懇談の中でも区長さんたち地域の子どもたちを大事にということで、学校と連携して活動をしていただいています。岡谷版コミュニティスクール、区長さんたちにとっても非常に理解しやすい内容となっておりますので、これからさらにこれがいい方向へ進むと思っております。

(橋爪委員)

湊小の今回の取り組みは、そういった部分を意識しまして、子(己)育てミニ集会の方たちと一緒に進めるという形をとれないかということで、お声掛けさせていただいている段階です。

(中田副市長)

他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、本日予定した議題は以上となります。最後に岩本教育長さんから、本日のまとめをお願いしたいと思います。

(岩本教育長)

本日の総合教育会議では、岡谷市教育大綱と来年度の予算編成方針につきまして、市長さんから話をいただきました。非常に有意義な意見交換ができたのではないかと思います。

まず、教育大綱につきましては、関係の皆さんの英知を結集して、夢や希望が持てる岡谷市の教育の道しるべができたのではないかとうれしく思っております。今後は、市長さんからもお話がありましたし、前回私が申し上げたとおり、しっかりとした魂と実効性を注入していくことが鍵かなと思っています。今後、市と教育委員会との緊密な連携の中、着実に歩んでまいりたいと改めて決意をしたところであります。

それから、予算編成方針につきましては、教育委員さんから日ごろから抱いております率直な願いや思いを申し上げたところがございます。市長さんのお話の中にありましたけれども、厳しい財政状況にあっても将来の岡谷を見つめ、夢を描き、選択と集中による思い切った改革を実行するという方針を教育委員会としましても大事に受け止めながら、私たちが描いている、学校現場で描いている夢や希望の具現化をしっかり図ってまいりたいと思っております。

この総合教育会議、今回で3回目を迎えたわけでありましてけれども、会を重ねるたびに教育委員のやる気に火をつけていただいたという気がしております。改めて、感謝を申し上げます。本日はありがとうございました。

(中田副市長)

ありがとうございました。以上で、本日、予定しました議題は全て終了となります。進行を事務局にお返しいたします。

○ 閉会

(小口企画政策部長)

真剣なご議論をいただきまして、ありがとうございました。

今後につきましては、必要に応じまして協議、調整をお願いする場面もあろうかと思いますが、特別な事案等が無ければ、次回のこの会議の開催は、新年度に予定をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

以上をもちまして、第3回岡谷市総合教育会議を終了させていただきます。
お疲れ様でした。